



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月15日

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所 東
コード番号 3656 URL <https://www.klab.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真田 哲弥
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-5771-1100
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有 (<https://www.klab.com/jp/ir/library/>)
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	1,635	3.4	△288	—	△439	—	△479	—
2024年12月期第1四半期	1,581	△45.3	△658	—	△610	—	△1,096	—

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △202百万円(—%) 2024年12月期第1四半期 △937百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△9.75	—
2024年12月期第1四半期	△27.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	16,125	10,661	65.9
2024年12月期	15,784	10,371	65.6

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 10,631百万円 2024年12月期 10,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

2025年12月期の連結業績予想については、合理的な業績予想の算出が困難であるため、非開示といたします。
なお、今後の進捗を踏まえ、算定が可能になった場合は速やかに開示する方針です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期 1 Q	51,882,400株	2024年12月期	48,502,300株
2025年12月期 1 Q	641,617株	2024年12月期	641,605株
2025年12月期 1 Q	49,174,032株	2024年12月期 1 Q	40,450,669株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

業績の概要につきましては、当社ウェブサイトに掲載しております、四半期決算説明資料をご確認ください。

<https://www.klab.com/jp/ir/library/presentations/>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間は、既存タイトルがいずれも堅調に推移しました。『BLEACH Brave Souls』においては、「10th Anniversary Year」として年明けよりキャンペーンを展開したことにより、売上高は前年同期を上回って推移しました。また、『キャプテン翼 〜たたかえドリームチーム〜』においても、商材の販売計画に変更があり3月はやや弱い推移となったものの、1月及び2月は好調に推移し、前年同期と同水準の売上高を確保しました。加えて、支援モデルの『ハイキュー!!FLY HIGH』も売上高の積み上げに寄与しました。この結果、売上高は1,635,880千円（前年同期比3.4%増）となりました。

費用の面では、事業の見直しを含めた全体的な費用の抑制により、労務費、外注費、業務委託費等が減少したことから、売上原価は1,415,410千円（同15.6%減）、販売費及び一般管理費は508,962千円（同9.6%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間において為替相場が円高傾向へと変動した影響により、営業外費用に為替差損116,136千円を計上しました。

以上の結果、営業損失は288,493千円（前年同期は営業損失658,588千円）、経常損失は439,326千円（前年同期は経常損失610,504千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は479,226千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,096,073千円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は16,125,393千円となり、前連結会計年度末に比べ、341,206千円の増加となりました。

流動資産合計は4,351,963千円となり、前連結会計年度末に比べ、48,498千円の減少となりました。これは主として、現金及び預金が590,597千円増加した一方で、売掛金が481,027千円減少、その他が157,284千円減少したことによるものです。

固定資産合計は11,773,429千円となり、前連結会計年度末に比べ、389,704千円の増加となりました。これは主として、投資有価証券が356,085千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は5,464,136千円となり、前連結会計年度末に比べ、51,454千円の増加となりました。

流動負債合計は4,326,356千円となり、前連結会計年度末に比べ、359,043千円の減少となりました。これは主として、買掛金が195,233千円減少したことによるものです。

固定負債合計は1,137,779千円となり、前連結会計年度末に比べ、410,497千円の増加となりました。これは主として、社債が650,000千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は10,661,257千円となり、前連結会計年度末に比べ、289,751千円の増加となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失等の計上により利益剰余金が479,226千円減少した一方で、資本金及び資本準備金がそれぞれ236,618千円増加、その他有価証券評価差額金が248,022千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境の変化が激しく、合理的かつ信頼性のある業績予想の提示が困難であると考え、2025年度の通期業績予想につきましては、非開示としております。

今後の進捗を踏まえ、算定が可能になり次第速やかに開示する方針です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,605,179	2,195,777
売掛金	1,220,550	739,523
その他	1,612,678	1,455,393
貸倒引当金	△37,946	△38,730
流動資産合計	4,400,462	4,351,963
固定資産		
有形固定資産	81,828	71,752
無形固定資産		
のれん	555,425	533,208
ソフトウェア	24,748	21,555
ソフトウェア仮勘定	7,226,182	7,467,027
その他	4,731	672
無形固定資産合計	7,811,088	8,022,464
投資その他の資産		
投資有価証券	2,031,273	2,387,359
その他	1,608,705	1,441,025
貸倒引当金	△149,171	△149,171
投資その他の資産合計	3,490,807	3,679,213
固定資産合計	11,383,724	11,773,429
資産合計	15,784,187	16,125,393
負債の部		
流動負債		
買掛金	592,556	397,323
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	773,350	629,680
未払法人税等	69,517	25,384
前受金	1,772,205	1,741,677
賞与引当金	105,920	26,010
その他	571,849	706,280
流動負債合計	4,685,399	4,326,356
固定負債		
社債	—	650,000
長期借入金	647,282	485,750
その他	80,000	2,029
固定負債合計	727,282	1,137,779
負債合計	5,412,681	5,464,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,220,354	6,456,972
資本剰余金	5,974,903	6,211,522
利益剰余金	△1,782,339	△2,261,565
自己株式	△397,395	△397,397
株主資本合計	10,015,523	10,009,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744,674	992,696
為替換算調整勘定	△400,125	△371,125
その他の包括利益累計額合計	344,548	621,571
新株予約権	11,432	30,154
純資産合計	10,371,505	10,661,257
負債純資産合計	15,784,187	16,125,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,581,792	1,635,880
売上原価	1,677,199	1,415,410
売上総利益又は売上総損失(△)	△95,407	220,469
販売費及び一般管理費	563,180	508,962
営業損失(△)	△658,588	△288,493
営業外収益		
受取利息	4,571	3,709
受取配当金	12,006	117
為替差益	94,455	—
投資事業組合運用益	35,091	—
その他	8,911	7,845
営業外収益合計	155,036	11,672
営業外費用		
支払利息	7,354	12,408
投資有価証券売却損	63,002	—
為替差損	—	116,136
その他	36,596	33,960
営業外費用合計	106,952	162,506
経常損失(△)	△610,504	△439,326
特別利益		
固定資産売却益	—	12
関係会社株式売却益	4,453	—
その他	7	0
特別利益合計	4,460	12
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	—	552
特別損失合計	0	552
税金等調整前四半期純損失(△)	△606,043	△439,866
法人税等	490,029	39,360
四半期純損失(△)	△1,096,073	△479,226
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,096,073	△479,226

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純損失(△)	△1,096,073	△479,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	197,467	248,022
為替換算調整勘定	△38,555	29,000
その他の包括利益合計	158,911	277,022
四半期包括利益	△937,162	△202,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△935,828	△202,204
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,333	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

当社は、2025年1月8日付の取締役会において、マッコーリー・バンク・リミテッド（以下「割当先」といいます。）を割当先とする第三者割当の方法による第20回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）及び第2回無担保社債（私募債）（以下「本社債」といいます。）の発行を行うこと、並びに2025年1月10日付の取締役会において、本新株予約権の発行に関しての発行条件等についてをそれぞれ決議いたしました。

また、2025年1月30日付で本新株予約権の発行価額の総額の払込を受けるとともに、2025年2月21日付で本社債の総額の払込を受けております。

なお、本社債の社債権者は、本社債の償還金額の累計額が本新株予約権の行使により割当先から当社に対して払い込まれた金額の累計額を超えない範囲でのみ、額面100円につき金100円で本社債の全部又は一部の期限前償還を求めることができるとされており、すでに一部を償還した結果、本社債の当第1四半期連結会計期間末の残高は、650,000千円であります。当第1四半期連結累計期間における本新株予約権の権利行使による資本金及び資本準備金の状況につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）2. 株主資本の著しい変動」に記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ236,618千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が6,456,972千円、資本剰余金が6,211,522千円となっております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
ユーザーからの課金収益	1,147,467	—	1,147,467
その他	387,420	46,904	434,324
顧客との契約から生じる収益	1,534,887	46,904	1,581,792
外部顧客への売上高	1,534,887	46,904	1,581,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,534,887	46,904	1,581,792
セグメント損失(△)	△44,066	△51,340	△95,407

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の売上総損失と一致しているため差異調整は行っておりません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
ユーザーからの課金収益	1,260,027	—	1,260,027
その他	372,590	3,262	375,853
顧客との契約から生じる収益	1,632,618	3,262	1,635,880
外部顧客への売上高	1,632,618	3,262	1,635,880
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,632,618	3,262	1,635,880
セグメント利益	217,881	2,587	220,469

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	22,019千円	14,744千円
のれん償却額	22,217千円	22,217千円

(重要な後発事象)

(希望退職者の募集)

当社は、2025年5月15日開催の取締役会において、希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

1. 希望退職を行う理由

当社では、新作タイトルの開発の長期化に伴い、赤字決算が継続しております。

また、当社は、2024年3月29日付の「上場維持基準の適合に向けた計画について」に記載のとおり、今後もプライム市場への上場維持のため企業価値の向上は喫緊の課題であり、そのためには一刻も早い業績の回復が第一であると考えております。

当社はこれまで、モバイルオンラインゲーム事業を軸とした成長戦略を掲げ、『EA SPORTS FC™ TACTICAL』、『ゲーム系IPタイトル』及び『僕のヒーローアカデミア』の3本の大型タイトルの開発に注力してまいりました。同時に、既存タイトルの減衰の抑制による売上規模の維持及び徹底したコストコントロールに努め、赤字幅の圧縮を図ってまいりました。

いずれの新作タイトルにつきましても、リリース後には大きな収益貢献が実現すると見込んでおりますが、『EA SPORTS FC™ TACTICAL』は依然としてグローバルローンチに至っておらず、業績への影響及び財務への負担が増しております。

こうした状況を踏まえ、当社は当連結会計年度において、確実性が高い事業に新たに取り組むことで、新たな収益の獲得を目指すことといたしました。加えて、早期にキャッシュフローの改善を図る必要があると判断し、モバイルオンラインゲーム事業においては、基本的な戦略は継続しつつも、コスト構造を抜本的に改善するべく、少数精鋭へと体制を転換してまいります。

以上のことから、事業ポートフォリオの転換及び利益創出を第一としたコスト構造改革を進めるにあたりましては、要員の適正化が必要であると考え、今般、希望退職者の募集を行うことを決定いたしました。

2. 希望退職者の募集の概要

- (1) 対象者 正社員（一部を除く）
- (2) 募集人員数 100名程度
- (3) 募集期間 2025年5月23日～6月6日
- (4) 退職日 2025年6月30日（予定）
- (5) 優遇措置 本制度に応じて退職する従業員は会社都合の退職として扱い、特別退職金を支給する。

3. 業績への影響

今回の希望退職者の募集に伴い発生する特別退職金等の費用については、2025年12月期第2四半期において特別損失として計上する予定ですが、現時点では応募者数及びその内訳が未定であるため、連結業績への影響については、未確定であります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、4期連続で営業赤字及び営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスを計上しております。また、「2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結) 第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1)連結財務諸表 注記事項(重要な後発事象)(重要な資産の担保提供)」に記載のとおり、第25期連結会計年度末において一部の借入金に付された財務制限条項に抵触することとなったため、期限の利益喪失の回避を目的として、当社の保有する子会社株式に担保権を設定いたしました。

以上のことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

一方で、当社グループは現在、海外大手のゲームパブリッシャーと共に開発しているタイトル『EA SPORTS FC™ TACTICAL』においてはリリースまでの期間が長期化しているものの、国内大手のディベロッパーと開発しているIP名未公表のタイトルやTVアニメ『僕のヒーローアカデミア』のIPを活用したタイトルといった大型のモバイルオンラインゲームのリリースに向けて事業を推進しております。

加えて、従来のモバイルオンラインゲームとは収益構造が異なるハイブリッドカジュアルゲームの新規開発も引き続き取り組んでいるほか、より将来性及び確実性の高い事業をポートフォリオに組み入れるべく、新たな事業領域においても事業の立ち上げを進めております。

費用面では、引き続き全社的にコストコントロールに努めるとともに、5月15日付「希望退職者の募集に関するお知らせ」にて開示しました通り、要員の適正化を図ることで更なる費用の圧縮を図ってまいります。

以上の施策などを通じ、事業成長とコスト圧縮の両面から、キャッシュフローの改善及び早期の黒字化を目指してまいります。

さらに、財務面においては、手元流動性確保のため、投資有価証券等の売却や、政策保有株式を含めた資産の効率的な運用に向けた対応を進めるとともに、金融機関からの資金調達を継続的に行うことで財務基盤の更なる強化を図ってまいります。また、共同事業スキームによる開発費用の分担や、グループ全体での資金の効率的な活用も併せて進めてまいります。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。